

平成22年度 九州クルーズ振興協議会 総会資料



リニューアルした「にっぽん丸」(三井商船客船(株))



「飛鳥Ⅱ」(郵船クルーズ(株))

日時: 平成22年6月2日(水) 13時30分～

場所: 福岡合同庁舎新館7階 九州運輸局海技試験場



九州クルーズ振興協議会

議題(1) 平成21年度 事業報告

1. 九州フライ&クルーズの推進

- ・平成21年5月25日、総会終了後に研究会を開催
- ・参加者：31名
- ・概要：商船三井客船(株)小林課長より、フライ&クルーズの取り組みについて説明後、北九州市、福岡市、佐賀県、長崎県、宮崎県、奄美市等からのプレゼンを実施した。

2. クルーズ船の船内見学会及びセミナー並びにクルーズポスター展の開催支援

- ・「飛鳥Ⅱ」クルーズセミナー&船内見学会を実施
共催：(社)日本外航客船協会、鹿児島県西之表市、九州クルーズ振興協議会
日時：平成21年11月1日(日) 12:45~15:00
場所：鹿児島県西之表港岸壁に停泊中のクルーズ客船「飛鳥Ⅱ」船内



【西之表港に接岸中の飛鳥Ⅱ】



【船内見学者の受付】



【船長へ記念品贈呈】



【記念品(薩摩焼)】



【クルーズセミナー】

【飛鳥Ⅱ 概要】

1990年に建造され「クリスタル・ハーモニー」の名前でデビュー、2006年3月に飛鳥Ⅱとして生まれ変わる。総トン数50,142ト、全長241m、速力23ノット、旅客定員800人の郵船クルーズ(株)が所有する日本屈指の大型客船。

・クルーズポスター展の開催

11月15日(日)、全日海主催の北九州市開港120周年記念事業の一環である「関門海峡乗船体験クルーズ」(「フェリーすおう」阪九フェリー(株))での九州運輸局コーナーを活用し、クルーズポスター展示を実施した。

当日は幼児・小中学生を含め、886名の参加があった。



車両甲板上に九州運輸局コーナーを設置し、クルーズポスターを掲示した。

3. クルーズ客船九州寄港予定パンフレット作成及び配布

- ・平成22年1月26日に平成22年版を5,000部作成した。
- 配布先：JR九州各駅 500部
- 九州各自治体窓口 900部
- 運輸支局・登録事務所他 2,800部
- 会員（国の機関他） 80部
- その他 720部



- ・「クルーズ船旅の魅力」
- 協議会シンボルマークをすり込んで、3,000部増刷。
- (現在の配布先)

- ① イベント会場
- ② 配布希望自治体
- ③ 運輸支局窓口
- ④ 佐土原高校（シンボルマーク考案校）
- ⑤ その他



4. シンボルマークの活用

平成21年2月に公募したシンボルマークをあしらったPR用グッズとして、シール及び貼付用のクリアファイルを各1万枚作成。

なお、クリアファイルには協議会の広報文書を添付。

(現在の配布先)	北九州港振興協会	1,000枚、
	北九州市、熊本県	各 500枚
	関門海峡体験クルーズ	500枚
	イベント会場	2,000枚



シンボルマーク

5. モニタークルーズ（市民クルーズ）の後援等

- ・10月6日、「秋の屋久島クルーズ」を後援

10月6日、「秋の屋久島クルーズ」見送り式



【乗船する旅客】



【吹奏楽演奏とチアリーダー】



【港湾局長の挨拶】

- ・10月9日、「秋の日本海クルーズ」を後援

九州クルーズ振興協議会主催による見送り式を実施。

10月9日、「秋の日本海クルーズ」見送り式



【勇姿】



【船内見学】



【田中会長挨拶】

6. 「海フェスタ」の支援等の検討

- ・平成22年2月23日、運輸局の「海フェスタながさき」実行委員会に参加した。
検討内容：海の総合展におけるブースへの参加。

九州トピックス

★ 「長崎県クルーズ振興協議会（クルーズながさき）」設立

設立目的：観光地、港湾施設等の連携促進により、クルーズ客船の誘致拡大にむけた振興策の企画、受入体制の充実、誘致活動の展開等に一体となって取り組み、クルーズを活用した観光・物産等の活性化を図る。

設立日：平成21年4月6日

会長：長崎県知事 金子原二郎

参画団体：(1) 自治体（長崎県、長崎市、佐世保市、平戸市、対馬市、壱岐市、五島市、雲仙市）

(2) 観光・物産関連団体（長崎県観光連盟、日本旅行業協会長崎地区会）

(3) 交通関連団体（長崎県バス協会）

(4) 経済関連団体（長崎県商工会議所連合会、長崎県商工会連合会）